

2019年度 珠洲市立正院小学校 後期学力向上プラン

プラン名 続・ホップステップジャンプとダブルジャンプの二刀流（ベネッセテスト・活用力 低85%・高75%以上）

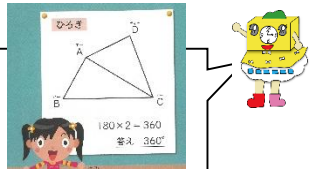
1 授業づくり

12か条+(プラス)
2条 8条

(1) 現状と課題 (R)

課題	現状（科学的データ）			
中期同様、活用力アップに向けた取組を行えたが、十分に定着していない。 教師が問題を解決するためのポイントを、焦点化することが難しい。そのため、児童が本時のねらいに到達できない時がある。	令和元年度 県評価問題 5年算数			
	自校：%	3 (1) 荷物のサイズを表から読み取る	自校：%	差：%
	県との差：%	4 (1) 和が3の倍数であることを記述する	%	%
	B領域のみ	6 仮の考えを活用して、記述する	%	%
	自校：%	1 小数-小数の計算	%	%
	県との差：%	7 グラフから正しくないわけを記述する	%	%
	2019年度 中期学力向上プラン 授業づくり			
	◎県評価問題活用力	全9問 5年生	県平均+5p以上	p
	○活用する力をみる問題	各学年 学期末正答率 1学期同一集団以上	1年% 2年% 3年% 4年% 5年% 6年%	1年% 2年% 3年% 4年% 5年% 6年%
		全学年 領域別正答率	75%以上	A%B% C%D%
(新) 活用力プリント (1学期) ・ダブルジャンプ問題取組 ・研究授業 ・(改) 振り返りシート		各学年 単元ごと正答率	前回より+5p以上	1年p 2年p 3年p 4年p 5年p 6年p
		各学年平均	70%以上	1年% 2年% 3年% 4年% 5年% 6年%
		3段階B評価以上	70%以上	%
		2— (1) どーなつたずねる, 2— (2) どーなつ話す各強肯定	70%以上	2— (1) % 2— (2) %
	[要因] ○これまでのズバリボードとお手本しずこの取組によって、考えを活用して、自分の考えが記述できるようになった。 ○中期同様、活用力を高める授業（ダブルジャンプ問題）を実施できた。活用力を高めたり、活用力を定着させたりする問題（活用する力をみる問題、活用力プリント）に取り組めた。△しかし、十分到達したとは言えない。 ○B領域における研究授業では、量感を養う具体物を単元の途中や授業の導入段階で取り入れることによってねらいに近づくことを改めて共通理解した。今後、量と測定以外で、県の評価問題の正答率が低かった数量関係で研究授業をする。 △児童がねらい達成に近づくための、深めの発問ができない時がある。また、児童のつまづきを考えた「どーなつボード」を出せていない。 △アンケート結果は、9月に比べ上昇してきたが、1時間ごとに教師が指導を振り返る必要がある。 ・12月の検証問題が多いことから、中期実施予定の全国の類問をやめた。活用力プリント（2学期）は、3学期の1月にずらした。			

(2) 計画と実行 (P・D)

後期目標	具体的取組		
教師が問題を解決するためのポイントを右のように焦点化する。児童がねらい達成し、自分で、考えを表現することができる。	前期や中期の取組を継続しながら △→どーなつボードに、教師からの発問（短答式）とその答えを記載する。 ※どーなつボードは、 <u>数学的な見方・考え方</u> において、 <u>②に</u> に着目して、 <u>②のように考えるか</u> を問う発問をする。 △→学びの5点振り返りシートを、1時間ごとにチェックする。		
	【5年 図形の角】 四角形の4つの角の大きさの和は、何度になりますか。 発 ひろきさんは、②のように考えたか？ 答 三角形を2つに分けて考えました。		
			
評価項目			評価（結果）
◎ ベネッセテスト・活用力	低学年・高学年	85%・75%以上	
○活用する力をみる問題	各学年 学期末 正答率	1年% 2年%	
	1学期同一集団以上	3年% 4年% 5年% 6年%	
	全学年 領域別正答率	75%以上	
活用力プリント	2学期	各学年 単元ごと 正答率	前回より+5p以上
	3学期	各学年 単元ごと 正答率	前回より+5p以上
・ダブルジャンプ問題取組	各学年平均	70%以上	
・研究授業	3段階B評価以上	70%以上	
・振り返りシート	2— (1) どーなつたずねる, 2— (2) どーなつ話す 各強肯定	70%以上	

(3) 検証と改善策 (C・A)

月	評価項目 (誰が, いつ)	結果	改善策
1	☐ ベネッセテスト・活用力 (検証・研修支援・第3週)		
	☐ 活用力プリント (学担・第4週)		
	☐ 活用する力をみる問題 (学担・第4週)		
	☐ 振り返りシート (検証・研修支援, 第4週)		
	☐ 研究授業 (全員・30日)		
2	☐ 活用する力をみる問題 (学担・第4週)		
	☐ 振り返りシート (検証・研修支援, 第4週)		
3	☐ 活用力プリント (学担・第3週)		
	☐ 活用する力をみる問題 (学担・第3週)		
	☐ 振り返りシート (検証・研修支援, 第3週)		
	☐ ダブルジャンプ問題取組 (検証・研修支援, 第3週)		

2 基盤づくり

後期目標	具体的取組	評価	
ていねいな字を書く姿と 筆箱の中身をそろえる姿を 高める (学校全体・各月 85%以上)	- 生徒指導主事が, 集会で良い姿の大切さを指導する。 - 児童会運営委員会担当が, 委員会活動で月目標に反映させる。 - 学級担任が, 強化日 (毎週月金) に, 児童に自己評価させる。	1 月	
		2 月	
		3 月	
		3 学期	